

家畜衛生だより



令和2年度第16号(鶏) 令和2年11月発行

南部家畜防疫協議会
(公社)千葉県畜産協会
千葉県南部家畜保健衛生所
〒296-0033 鴨川市八色52
電話 04(7092)2304
FAX 04(7092)1434

香川県で4例目の高病原性鳥インフルエンザ発生 三豊市・肉用種鶏農場

1. 農場の概要

所在地：香川県三豊市
飼養状況：肉用種鶏（約1万羽）



2. 経緯

- 11/12(木)農場管理者から西部家保西讃支所へ「死亡羽数の増加」の連絡
- 家保が立入検査を行い、簡易検査で13羽中10羽(死亡鶏11羽中10羽、生存鶏2羽中0羽)の陽性を確認。遺伝子検査を実施し、11/13(金)にH5亜型の高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認。

3例目発生農場(三豊市) 疫学調査チームの現地調査概要

●農場の周辺環境

農場敷地の周囲に複数のため池があり、カルガモ等の多数の水鳥類が確認された。

●通報までの経緯

11/6、1例目の発生に伴い実施した周辺農場検査において、陰性が確認されていた。発生鶏舎では1日あたりの死亡鶏は0~1羽程度で推移していたが、11/9に4羽の死亡があり、不審に思っていたところ、11/10早朝に7羽、その数時間後に9羽の死亡が確認されたことから、家畜保健衛生所に通報した。

11/10の死亡鶏は発生鶏舎内に散在しており、一部では肉冠の黒赤色化が確認されていた。

●管理人及び従業員

従業員は農場専用の作業着と長靴を使用していた。また、鶏舎毎に専用の長靴と踏み込み消毒槽を設置していたが、長靴の履き替えの際に鶏舎内外の動線が交差していた。

なお鶏舎毎の手指消毒は実施されておらず、従業員によっては手袋の交換も行っていなかった。

●野鳥・野生動物対策

発生鶏舎の側面の金網(マス目は3×4cm※)とその外側のロールカーテンは、いずれも一部に破損が見られ、金網には、小型の野鳥が鶏舎内に侵入した形跡が確認された。

また、鶏舎の壁面や、壁面下部と土台(基礎)との間に小型の野生動物が侵入可能な

3cm程度の隙間が確認され、ネズミの物と思われる断熱材の齧り跡が確認された。

※飼養衛生管理基準上、防鳥ネットは網目の大きさ2cm以下のもの又はこれと同等の効果を有するものに限る

鳥インフルエンザは主に渡り鳥が保持しており、糞便の排泄等を通じて環境中に排出されます。特に、今の時期は、ため池、湖などに渡り鳥が飛来する為、リスクが高まっています。養鶏農場においては、環境中にウイルスが存在する前提で飼養衛生管理の再徹底をお願いします！

高病原性鳥インフルエンザ防疫のため、以下の徹底をお願いします！

- ★衛生管理区域の出入口における車両、人、物の消毒の徹底
- ★衛生管理区域内における長靴、手指の消毒
- ★鶏舎専用の作業着、長靴の使用
- ★扉やカーテンを開放していないか、防鳥ネットや鶏舎の壁、天井に破損や隙間はないか確認・破損があれば直ちに修繕
- ★死亡率の増加や特定症状等、異常が見られた場合の早期発見・早期通報

南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304 FAX 04-7092-1434

※休日、夜間は転送されますので必ず5回以上のコールをお願いします。